社会福祉法人清隆厚生会 理事長　坂崎　隆浩様

令和７年度　社会福祉法人清隆厚生会こども園ひがしどおり
施設関係者評価委員会(学校評価)　総括評価表
評価日時　令和８年３月 10 日(火) 17:00～18:00
報告日　　令和８年３月 19 日(木)
評価報告　こども園ひがしどおり施設関係者評価委員長
　　社会福祉法人恵泉会 理事長　椛沢　幸苗

令和８年３月 10 日、令和７年度のこども園ひがしどおり施設関係者評価が開催された。この評価は小学校等の学校評価に値するものである。評価にあたっては私を含めて７人の評価委員によって行われた。(私の他に保護者６名、園の副園長と事務局長２名が同席)
評価にあたっては、坂崎園長より挨拶後に和７年度事業報告がなされた。
その後、保育・教育に関する園児への指導計画、避難訓練等安全に関わること、また自己評価などの各種書類を評価者にご覧いただいた。
その後、園長より評価表の内容に関する説明も丁寧にされ、評価表に記入していただき、評価者から今後についての改善も含めたご意見を賜ったものを委員長として総括する。
評価者の皆さまからは、園が真摯に保育に取り組み、地域に対する乳幼児教育として多大なる貢献をしていることが全員のお話とともに評価表から伺うことが出来た。具体的な体験を基にした保育の在り方は全般的評価としては高いものであった。
委員長としては改善と言うよりは更に進めていただくという付加に近い意見を述べる。行事等においては今後も園児に必要なものについては行うべきと考える。保護者の関わりなども社会に園を開くという事であると同時に幼児教育の重要性の振興という意味でも大きなことなので、兼ね合いを見つけてほしい。一方今後更に進む働き方を念頭において行事の在り方を検討すべきであろう。
最後に、こども園ひがしどおりは令和８年１月に国より大臣視察があり、こども家庭庁や青森県庁からも、小学校の接続などにおいて全国のモデル園として高く評価されている。これは行政も含め、長年園が果敢に取り組んだことは大変大きな成果である。
新年度からは、小学校の架け橋プログラム、そして誰でも通園制度が始まるということも含め、法人が 50 周年を迎える。今後も園が日々の乳幼児教育を丁寧に進め、地域の大切な施設としてご活躍することを心よりご祈念し、評価の総括とする。

施設評価者名　一覧
　椛沢 早苗　中村 公政　山本 卓人　中村 優希　濱田 裕子　須道 汰優　真手 智裕